



沖縄県立名護高等学校

住所：〒905-0018 名護市大西五丁目17番1号
電話：0980-52-2615

本校は、戦前の首里高校(一中)、那覇高校(二中)に続く、県立第三中学校と第三高等女学校を前身とした、約90年の歴史と伝統のある高等学校です。ここでは、校訓と校是を紹介しますので、名護高校の理解や進路指導に役立ててください。

名護高校校長

まず、名護高校が一番大事にしていることを二つ、お話します。1つ目は、校訓です。校訓とは、名護高校の教育の目標です。



校訓：知性、感性、個性



本校は、戦前の県立第三中学校と第三高等女学校の歴史と伝統、そして輝かしい実績を継承し、学校を支える精神的な基礎となる校訓は、次の三つを育成し、バランスの取れた人格の完成を目標とします。

- 一 知性を研ごう「Intelligence」
知識を知恵に変え、たくましく生きていく人間の育成を目指します
- 一 感性を鍛えよう「Sensibility」
心身の鍛錬を通して感性の世界を深める人間の育成を目指します
- 一 個性を育てよう「Personality」
個性を育成し、集団の発展に貢献する人間の育成を目指します

まず、「知性」。知性とは辞書によると、「物事を知り、考え、判断する能力」とあります。高校時代に、将来、社会で活躍するための、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、そして課題を解決する時に必要な思考力、判断力、表現力等を身につけなければなりません。本校でしっかりと学習に励み、知識を増やし、物事を考え、判断し、表現する能力を身につけて下さい。

次に、「感性」。将来、自らの人生をよりよく生きていくためには、心を豊かにする必要があります。具体的には、例えば、日々の挨拶、掃除、清潔な身なり、整理整頓等、当たり前のことを当たり前に行うこと、つまり「凡事」を徹底して、身につけなければなりません。そして、高校生活の中で、クラスメートや部員と友情や団結の和を広げ、そして先生方と師弟関係を深め、忘れられない思い出を作ってください。名護高校の日頃の生活の中で、感性を鍛え、心豊かな人間に成長して下さい。

三点目は「個性」。皆さんは一人一人、興味・関心、適性等、異なります。勉強が得意な生徒、文化系や体育系の部活動が大好きな生徒、人はそれぞれ個性があります。自分だけのオンリーワンを目指して、友人や先輩、先生方と心が通い合う中で、勉学に励み、得意分野を開拓し、個性を伸ばして下さい。

次に、校是の文武両道についてです。校是とはどのようにして校訓を達成するかという、指導の方法です。



校是：文武両道について



名護高校は、「文武両道」を提唱しています。

まず、部活動の本分は心の教育にあります。損得無しに、陰ひなたなく堂々と挨拶ができる等、礼儀をわきまえ、人間としての基本的な事柄、「凡事」を徹底します。「文武両道」の神髄は、勉強もそして部活動もしたたかに、そして実直に実行することです。部活動の指導は、いつでもどこでも品性のある名護高生を育てることが目的です。そしてそのような指導を通して、顧問と部員は、勉強とは違った、心の通い合う師弟関係を構築していきます。

次に、教科指導も文武両道と連動しています。名護高校は進学の拠点校だと自負しています。勉強の面でも生徒をおおいに鍛えていきます。宿題もたくさん出します。授業のスピードも速く、半端ではありません。家庭学習と授業は両輪であり、家庭学習無しでは授業についてこれません。

最後に、文武両道の神髄を追求し、皆さんを導いてくれる先生方は、使命感に燃え、勉強も部活動も激しく、熱く指導します。名護高校は家庭でも学校でも、一生懸命に頑張る生徒の学校です。

皆さんとともに、本校の更なる発展と飛躍をめざしていきたいと思っています。